

3 林業の仕事をしている人々の暮らし

(1) 林業のさかんな地域

真庭市は、岡山県の北部の中国山地にあり、鳥取県に接しています。森林は、真庭市の面積の5分の4をしめています。杉やひのきが育つのに適した土地が多く、県内でも林業のさかんな所です。



よく手入れされた森林(真庭市)

切った木は、市内にある製材所で加工します。製品は、県内だけでなく、京阪神などにも出荷しており、地域の産業として大きく成長しています。

(2) 林業をおもな仕事とする家

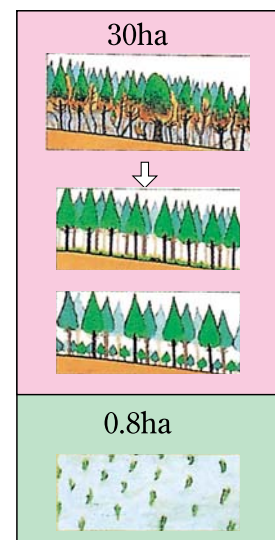
よしお君たちは、真庭市で、林業をおもな仕事にしている福島さんの家をたずねました。



福島さんの家族



経営規模



1年間の作業ごよみ

1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
枝うち		植林	除ばつ 間ばつ	下草がり・つる切り				除ばつ 間ばつ		枝うち	



山の仕事の1年間

よしお君たちは、さっそく山の仕事について福島さんから聞きました。

「わたしは、父と2人で山の仕事をしています。毎年3月には、植林をします。そのための苗木なえぎは、森林組合を通して買います。木は、植えてから、50年から60年くらいしないと、一人前になりません。だから、長い間、根気よく世話をしなければいけません。」と、福島さんは、自分の森林に案内しながら話してくれました。そして、
「植えた木が、草や雑木ぞうきに負けないようになるまで、毎年下草をかってやったり、まきついたつるを切ったりしてやることも大切なんです。」そういいながら、エンジン付きのかりはらい機で、下草をかって見せてくれました。

この下草がりは、夏の暑い時期の仕事で、たいへんつらいそうです。

「少し大きくなってくると、除ばつじよとって、曲がった木や虫の入った木などを切りたおします。これは、よい木だけを大きく育てていくためにするんです。」